

花きの県別生産出荷概況(4月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	4月出荷見込み 千本		主産地	4月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
バラ	茨城県	11 (98%)	つくばエクスプレス ローテローゼ パレオ レッドスター、ノブレス 他	650 (100%)	520 (100%)	石岡市 旧三和町 行方市 他	30	40	30
	群馬県	20.1 (100%)	ローテローゼ ティケネ ノブレス、ピピアン マイガール、マレーラ	990 (100%)	705 (100%)	前橋市、甘楽富岡、 利根沼田	35	35	30
	千葉県	7.9 (98%)	ローテローゼ、ノブレス ノブレス	114 (100%)	92 (100%)	茂原市 鴨川市	40	30	30
輪ぎく	秋田県	32.5 (106%)	精の曲 岩の白扇 精の波 深志の匠	668 (68%)	199 (68%)	秋田みなみ 秋田おばこ 秋田ふるさと	20	30	50
	香川県	60 (97%)	精興の誠 精興の秋 美吉野 他	18,000 (97%)		小豆地区 香川豊南	30	30	40
トルコギキョウ	山形県	30 (100%)	ロジーナシリーズ エクローサシリーズ ピッコローサシリーズ セシルシリーズ	6,300 (100%)	5040 (80%)	JA新庄もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ	20	40	40
	北海道	32.9 (98%)	ピッコローサスノー 北斗星 パレオピンク ロジーナ3型ホワイト	6,430 (98%)	1900 (98%)	由仁町(JAそらち南)	30	36	34
デルフィニウム	北海道	32.9 (84%)	オーロラブルーインブ スーパーシフォンブルー スーパーグランブルー トリトンライトブルー	10,961	4400	三石町(JAみついいし)	40	40	20
アルストロメリア	北海道	9.2 (92%)	オルガ レベッカ イレーネ メイフェア	6,851 (84%)	2,400 (84%)	新篠津村(JA新しのつ)	60	30	10
小菊	茨城県	143 (100%)	玉姫、夏ひかり、はるか、白鳥 小雨、紅子、いりどり 他	5,500 (100%)	4500 (100%)	石岡市、旧友部町 筑西市、旧銚田町 土浦市 他	45	30	25

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	<p>品質は概ね順調で、平年並みの出荷が見込まれる。 一部の圃場で、べと病、灰カビ病等が散見される。</p>	<p>現状 父の日需要で黄色系の引き合いはあったものの、プライダル需要も少なく、全体的には厳しい相場が続く。</p>
	<p>平坦地・山間部ともに生育は順調で、品質も概ね良好。平年並みの出荷量を見込む。 引き続き、平坦地の一部でうどんこ病の発生が例年より多い。</p>	<p>見通し 特に需要も無い月で、産地・品質格差の単価差は出る日持ちも良く無い事から厳しい流れが予想される。ST@55 SP@60</p> <p>第一花き</p> <p>大田花き 暖地が剪定、改植に入るため減少する見込み。山形、宮城、長野、大分など高冷地中心の入荷となる見込み。</p>
	<p>曇天が続く、多湿による病害抑制に気を使っている。 代表品種(ローテローゼ、パレオ、ノブレス)に加え生産者によって様々な品種を栽培している。 夏季剪定が始まり出荷量は減少する。</p>	
輪ぎく	<p>昨年よりも旧盆・彼岸の出荷割合が高くなる。生育に関しては順調に推移しているが、一部白サビが発生しており、下位等級品あり。</p>	<p>現状 白菊については品種の切り替えの月ではあるが、品種も多くなり、数量も安定していたことから忌避しい販売となった。色菊については数量が大きくまとまることもなく、安定市況が続いた。</p>
	<p>計画数量は、前年並みを見込む。害虫の発生被害が見られる。優花、白扇は6月下旬から増加見込み。</p>	<p>見通し 業務・新盆需要中心の流れ、入荷状況によるが概ね例年並みの流れが予想される。@49</p> <p>第一花き</p> <p>大田花き 各産地、夏系品種になり、高冷地の出荷が増えるに従い増加してくる。需要は7月盆中心の動きとなるが、全国的な需要ではないため、相場は入荷量次第となる見込み。</p>
トルコギキョウ	<p>生育は良好で、病害虫の被害は少ない。 本格的な出荷は7月中下旬からの見込み。</p>	<p>現状 茨城は順調な出荷状況であったが、長野、山形が遅れており、数量は前年を下回る。後半は出揃い、案提出荷となった。プライダル、小売店の動きも悪く、厳しい相場展開。</p>
	<p>作柄は平年並みで推移している。</p>	<p>見通し 業務・新盆需要中心の流れ、産地・品質格差の単価差はでる暖地産の入荷も有り厳しい流れが予想される。@90</p> <p>第一花き</p> <p>大田花き 長野、山形、福島、岩手などの高冷地が出揃い、7月盆需要へ向けて、天候の影響にもよるが昨年並みの潤沢な入荷となる見込み。</p>
デルフィニウム	<p>6月の天候不順と低温で生育が遅れており、6/19現在の出荷数量は日量1,500ヶ-ス程度に留まっている。7月はシネンシス系を中心に出荷増の見込み。</p>	<p>現状 業務需要中心の流れ、品種・品質格差の単価差は出ている。入荷もやや落ちついた事から安定した流れ。</p> <p>見通し 業務需要中心の流れ、入荷状況によるところが大きい日持ちも良く無い時期でやや厳しい流れが予想される。@80</p>
アルストロメリア	<p>全体的に改植に入り、数量的には減少する時期であり、今月は軒並み出荷数量も少なくなる見込みである。</p>	<p>現状 日持ちも良く無い時期で、入荷も減少傾向で品種による単価差は有るが安定した流れ。</p> <p>見通し 入荷も多く無い時期で業務需要中心の流れ。中値安定型の流れで概ね例年並みの流れ。@65</p>
小菊	<p>品質は概ね順調で、平年並みの出荷が見込まれる。 気温の上昇により、前進化傾向にある。 一部の圃場で、さび病、ハダニ類、アザミウマ類等が散見される。</p>	<p>現状 入荷不足から引き合いは強い状況が続いているが、ここに来て入荷も増加傾向となりやや落ちついた流れ。</p> <p>見通し 新盆需要中心の流れ、中旬以降入荷状況によるが昨年のような事は無い模様。@23</p>

